

施策分析シート（平成20年度）

No1

施策名	防災基盤の整備	施策No	11-02	部課名	区民生活部防災課	課長名	村松 猛	内線	491
関連部課名	区民生活部防災課								
行政評価	分野	安全安心都市[]							
事業体系	政策	防災・防犯のまちづくり[11]							
目的	災害時の延焼防止、地域の防災活動拠点となる防災広場の整備や避難活動、避難生活に向けた対策の推進、災害時のみならず平時の防災対策など、区民の安全・安心に資するため、災害に強いまちを目指して各種防災基盤を整備する。								
指 標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (28年度)			
	火災による建物の焼損床面積（㎡）	854	723	277	277	170	目標値：17年度の約8割減		
	地域設置消火器数（本）	4,244	4,246	4,267	4,280	4,500	全設置数		
防災広場整備数（ヶ所） <small>（地域危険度4又は5の町丁目の数）</small>	12	12	12	13	21	地域危険度4又は5の地域は32ヶ所（うち整備済み12）			
現状と課題（指標分析）	防災広場や備蓄倉庫管理、地域設置消火器など、荒川区地域防災計画等の修正に併せ、各種防災基盤の見直しを図る必要がある。 現在、整備されている全ての防災広場数は、19ヶ所。今後、整備を進める防災広場は、地域危険度4、5の町丁目であり、整備済みの町丁目は12である。 都が19年2月に公表した地域危険度調査の見直しでは、地域危険度4又は5の町丁目は、見直し前の25ヶ所から見直し後は32ヶ所に増加した。								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 地域防災計画の修正に伴い見直した事項について、すみやかに整備を図る。 警察や消防など防災関係機関との連携強化に資する事業については、積極的な展開を図る。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	地域防災計画の修正に伴い、それぞれの整備計画の見直しを図るとともに、既存の防災基盤の維持管理に努める。

